

## 平成 26 年度 第 1 回 柔道整復学科 学校関係者評価委員会

- 日時：平成 26 年 9 月 18 日（木）19：10
- 場所：日本医学柔整鍼灸専門学校 101 教室
- 出席者：9 名（委員：8 名・記録：1 名）
  - 二瓶 隆一（校長）
  - 渡邊 勉（副校長・委員長）
  - 岸本 光正（副校長）
  - 奥田 久幸（教務部長）
  - 木下 美聡（学科長）
  - 伊藤 述史（公益社団法人 東京都柔道整復師会 副会長）
  - 深沢 篤（みさと接骨院 チーフ）
  - 道狭 浩子（ひろこ接骨治療院 院長）

### <本日の議題>

#### 1. 報告事項

- ① 平成 25 年度 自己評価実施報告（重要課題等報告）
- ② 平成 25 年度 自己評価を受け、本年度の実施事項報告

#### 2. 検討事項

- 平成 27 年に向け、平成 25 年度自己評価重要課題の検討
- 

#### 1. 報告事項

- ① 平成 25 年度 自己評価実施報告（重要課題等報告）  
→ 添付資料を基に、渡邊委員長が説明
- ② 平成 25 年度 自己評価を受け、本年度の実施事項報告  
→ ・保護者との連携強化のため保護者会を実施（基準 5 学生支援）  
・就職率の向上のためキャリア支援センターを設立（基準 4 学修成果）  
・ハラスメント対策のため、外部講師を招いて勉強会を実施（基準 9 法令等の遵守）。

#### 2. 検討事項

##### <平成 27 年度に向け、平成 25 年度自己評価重要課題の検討>

添付資料（平成 25 年度自己評価）を見ながらの意見交換がなされた（下記記載）

- 低学力者に対する

（文責／松丸）

## 平成 26 年度 第 1 回 鍼灸学科 学校関係者評価委員会

- 日時：平成 26 年 9 月 18 日（木）15：10
- 場所：日本医学柔整鍼灸専門学校 101 教室
- 出席者：9 名（委員：8 名・記録：1 名）
  - 二瓶 隆一（校長）
  - 渡邊 勉（副校長・委員長）
  - 岸本 光正（副校長）
  - 奥田 久幸（教務部長）
  - 青木 春美（学科長）
  - 伊集院 克（公益社団法人 東京都鍼灸師会 副会長）
  - 藤原 良次（数式会社アールエフ 代表取締役）
  - 菊池 優子（貴子鍼灸治療室 副院長）

### <本日の議題>

#### 1. 報告事項

- ① 平成 25 年度 自己評価実施報告（重要課題等報告）
- ② 平成 25 年度 自己評価を受け、本年度の実施事項報告

#### 2. 検討事項

- 平成 27 年に向け、平成 25 年度自己評価重要課題の検討
- 

#### 1. 報告事項

- ① 平成 25 年度 自己評価実施報告（重要課題等報告）  
→添付資料を基に、渡邊委員長が説明
- ② 平成 25 年度 自己評価を受け、本年度の実施事項報告  
→・保護者との連携強化のため保護者会を実施（基準 5 学生支援）  
・就職率の向上のためキャリア支援センターを設立（基準 4 学修成果）  
・ハラスメント対策のため、外部講師を招いて勉強会を実施（基準 9 法令等の遵守）。

#### 2. 検討事項

##### <平成 27 年度に向け、平成 25 年度自己評価重要課題の検討>

添付資料（平成 25 年度自己評価）を見ながらの意見交換がなされた（下記記載）

- 各項目についての評価が、このフォーマットでは分かりづらい。
- 平成 25 年度は本校にとって、Re-Start の年となった。5 年後のあるべき姿の再構築を行い、平成 26 年度（本年度）、27 年度と、それらを形にしていく。
- 平成 25 年度は明確にし切れていなかった「学校の理念」「教育目標」を、本年度明確に定めた。

- 同窓会との連携を、より強化して行くべき。
- 教員のレベルの低さを感じる。学生だけではなく、教員を支援する体制も、もっと整えるべき。その姿勢を見て学生も成長する。

上記の意見を踏まえ、平成 27 年度に向け、下記の方針を進めて行くことを、組織として決定をした。

- 平成 25 年度に再構築を行った「5 年度のあるべき姿像」もとに、さらに具体的な落とし込みを行う。
- 本年度明確にした「学校の理念」の下、学校運営を行う。

<平成 26 年度 第 2 回委員会開催について>

平成 27 年 2 月 19 日（木） 15:10 ～ 16:10

（文責／松丸）

## 平成 26 年度 第 2 回 柔道整復学科 学校関係者評価委員会

- 日時：平成 27 年 2 月 19 日（木）19：10
- 場所：日本医学柔整鍼灸専門学校 101 教室
- 出席者：9 名（委員：8 名・記録：1 名）
  - 二瓶 隆一（校長）
  - 渡邊 勉（副校長・委員長）
  - 岸本 光正（副校長）
  - 奥田 久幸（教務部長）
  - 木下 美聡（学科長）
  - 伊藤 述史（公益社団法人 東京都柔道整復師会 副会長）
  - 深沢 篤（みさと接骨院 チーフ）
  - 道狭 浩子（ひろこ接骨治療院 院長）

### <本日の議題>

#### 1. 確認事項

- ① 前回（9/18）会議の確認
- ② 平成 26 年度 活動報告

#### 2. 検討事項

- 平成 27 年に向け、平成 25 年度自己評価重要課題の検討
- 

#### 1. 報告事項

- ① 前回（9/18）会議の報告  
→添付資料を基に、渡邊委員長が説明
- ② 平成 26 年度 活動報告  
→ハラスメント対策について、渡邊委員長が報告

#### 2. 検討事項…平成 27 年度に向けて

委員から介護業界への就職状況について質問が出た。

- ◆ 就職の状況が詳しく知りたい。
- ◆ 柔道整復師としてではなく、機能訓練士として働く学生はどれくらいいるのか知りたい。
- ◆ 決して多いわけではないが、年々増えている。
- ◆ 業界としても介護の分野で何が出来るかを、しっかりと伝えて行かなくていけないと思う。
- ◆ 往診の際に機能訓練士の要素を行っている接骨院もある。
- ◆ 柔道整復師が活躍の場を広げるためにも、職業開拓も行っていかななくてはならない。

上記の意見を踏まえ、下記のような方向性で進めることを確認した。

- ♦ まず就職状況を把握する
- ♦ 学生が求めている就職の場を理解し、職業開拓を行って行かなくてはならない。
- ♦ 介護業界でも活躍の場があるということも、学生に知らせていきたい。

<平成 27 年度 第 1 回委員会開催について>

平成 27 年 9 月中旬を予定（6 月頃、日程のご相談をさせていただきます）

（文責／松丸）

## 平成 26 年度 第 2 回 鍼灸学科 学校関係者評価委員会

- 日時：平成 27 年 2 月 19 日（木）15：10
- 場所：日本医学柔整鍼灸専門学校 101 教室
- 出席者：9 名（委員：8 名・記録：1 名）
  - 二瓶 隆一（校長）
  - 渡邊 勉（副校長・委員長）
  - 岸本 光正（副校長）
  - 奥田 久幸（教務部長）
  - 青木 春美（学科長）
  - 伊集院 克（公益社団法人 東京都鍼灸師会 副会長）
  - 藤原 良次（数式会社アールエフ 代表取締役）
  - 菊池 優子（貴子鍼灸治療室 副院長）

### <本日の議題>

#### 1. 報告事項

- ① 前回（9/18）会議の報告
- ② 平成 26 年度 活動報告

#### 2. 検討事項

- 平成 27 年に向けて
- 

#### 1. 報告事項

- ① 前回（9/18）会議の報告  
→添付資料を基に、渡邊委員長が説明
- ② 平成 26 年度 活動報告  
→ハラスメント対策について、渡邊委員長が報告

#### 2. 検討事項…平成 27 年度に向けて

上記について、下記のような意見が出された。

- ◆ 鍼灸の現場はハラスメントが起きやすい。鍼灸師会への報告、相談等でも減っている印象はない。
- ◆ 学生に臨床現場で起こりうるハラスメントを、しっかりと伝えてほしい。
- ◆ セクハラだけではなく、パワハラと取られる場合もあることも伝えてほしい。
- ◆ ヒヤリハット事例も学生に伝えてほしい
- ◆ 臨床実習の授業の中で、ハラスメント事例も伝え、対応策も伝えてほしい。
- ◆ 同窓会でワークショップ（ハラスメント）を開催した方がいいのではないか。

上記の意見を踏まえ、下記のような方向性で進めることを確認した。

- ♦ ハラスメントになりうるポイント集を作成する
- ♦ ハラスメントの内容が関わってきた時に起こりうる事例を考え、学生に伝えていく。

<平成 27 年度 第 1 回委員会開催について>

平成 27 年 9 月中旬を予定（6 月頃、日程のご相談をさせていただきます）

（文責／松丸）